

平成31年 3月18日

岩見沢市議会

議長 井 幡 修 一 様

会 派 名 市 民 ク ラ ブ

代表者名 大 坂 龍 起

政 務 活 動 報 告 書

政務活動の使途項目	研修費
日 程	平成31年1月21日（月）～22日（火）
視察先・視察項目 （研修先・研修項目）	研修先：東京都 ① 研修会場：アットビジネスセンター池袋駅前別館 研修項目：「議員の定数と報酬を考える」 （主催：(株) 地方議会総合研究所） ② 研修会場：衆議院議員第一議員会館520号室 衆議院議員 わたなべ孝一事務所 研修項目：「自治体病院について」「JR北海道路線維持について」 （自主研修）
議 員 名	豊岡義博、峯 泰教、伊澤幸信、太田博之、篠原藤雄、増山宣之
調 査 概 要	詳細は別紙のとおり

東京都 1月21日(月)

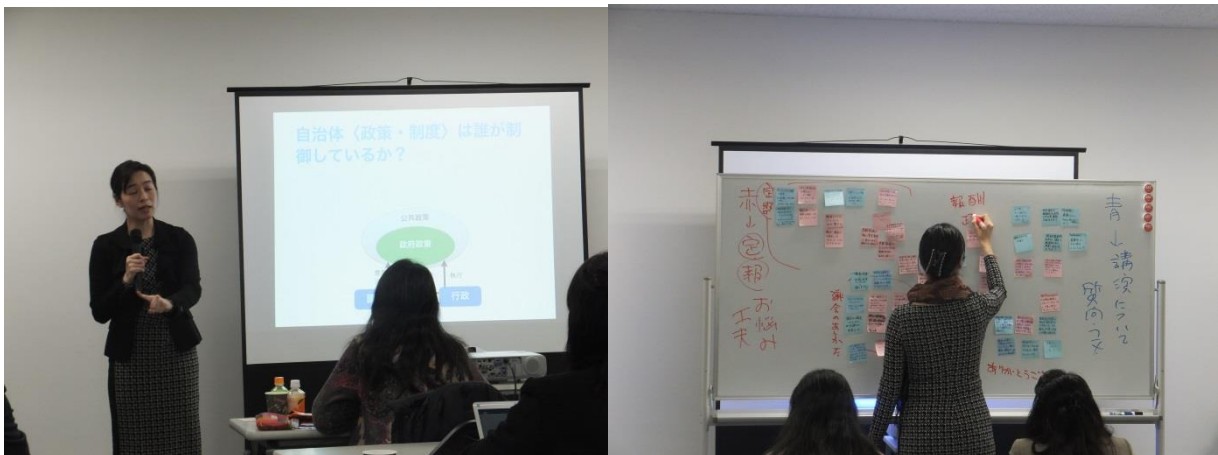
- 研修名：「議員の定数と報酬を考える」
会 場：アットビジネスセンター池袋駅前別館
主 催：(株) 地方議会総合研究所
- 報告者： 峯 泰教
- 報 告 議員定数の考え方は活発な議論が可能な常任委員会の人数
6名～8名×常任委員会数とご教授頂き、現在の岩見沢市議会の定数に
照らしても整合性あるお話しを頂戴しました。
また、議員の報酬は市の上位20名の報酬合計の平均値と同程度が本来妥
当な金額であり、政務調査費などの用途の拡大や必要な経費を認められる
ようにすべきとのお話しでした。
報酬は議員だけでも決められるが第三者を交えた中で市民の理解が十分
に得られるような方法で行うべきとのお話しでした。
全議員が「議会の価値を上げる事」を意識した活動をすべきとご示唆頂き
ました。

研修内容

「議員の定数と報酬を考える」

講 師：龍谷大学教授 土山 希美枝 氏

- 1 議会というシクミから定数を考える
- 2 議員報酬を考える視角を整理する
- 3 「議員」と「議会」をどう設定するか？
- 4 「定数と報酬」と「理解と納得」を考える
- 5 議会と議員の価値はあげられるか



東京都 1月22日(火)

- 研修名：「自治体病院について」「JR北海道路線維持について」（自主研修）
会 場： 衆議院議員第一議員会館520号室
衆議院議員 わたなべ孝一事務所

- 報告者： 峯 泰教

- 報 告 「自治体病院について」

総務省自治財政局準公営企業室 桑原理事官を講師に「公立病院改革の取り組みについて」と題し国の自治体病院整備の方針と今後の方向性についてお話し頂きました。

それぞれの地域で様々な事情はあるが自治体病院間の「再編・ネットワーク化」は避けられず更には他の自治体や民間との統合も進んでいる。当市においても新病院建設の基本構想を作成中であるが当市を取巻く環境と周辺を含む将来人口予測などを十分に議論し慎重に整備を進めるべきと考えられる。

- 報 告 「JR北海道路線維持について」

国土交通省鉄道局鉄道事業課 JR担当室 澤田室長、豊原様に「JR北海道の現状について」としてお話しを頂きました。JR北海道の経営改善については国交省もまだ不十分との認識をお持ちでした。また、JR北海道が示された「線区別の収支と利用状況」なども生活圏と異なる部分があり国交省の強いリーダーシップの下で経営改善がなされるべきと思わせて頂くところでした。

